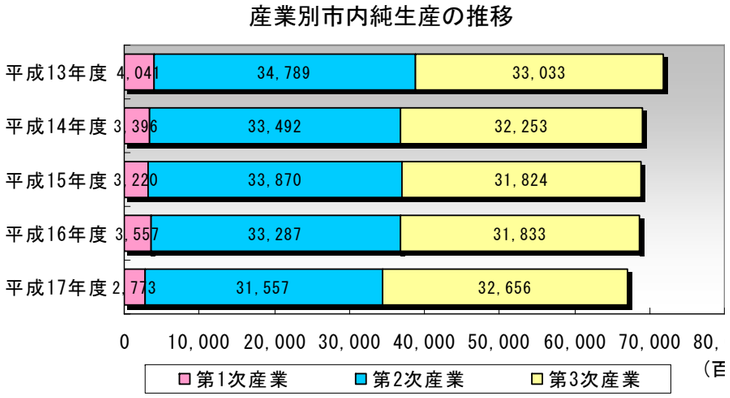
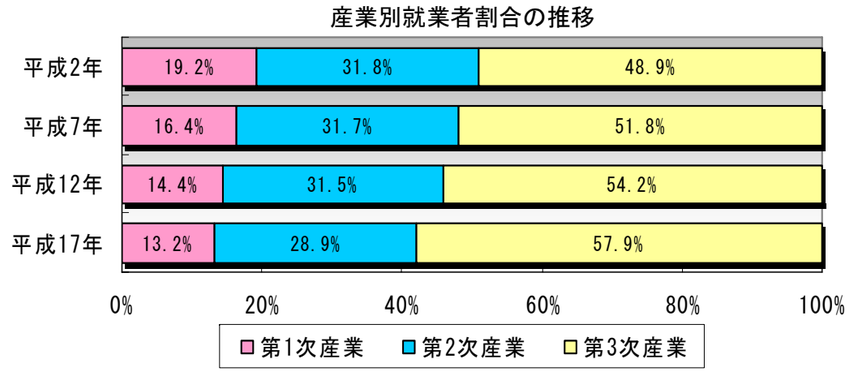
3.産業（農工商レジャー）

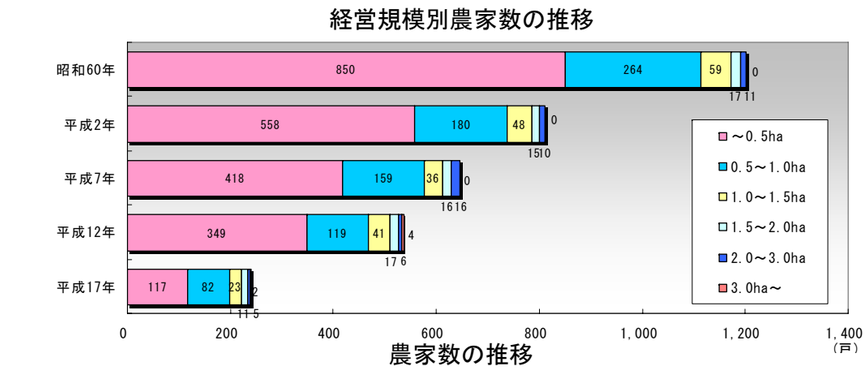
本市の産業構造

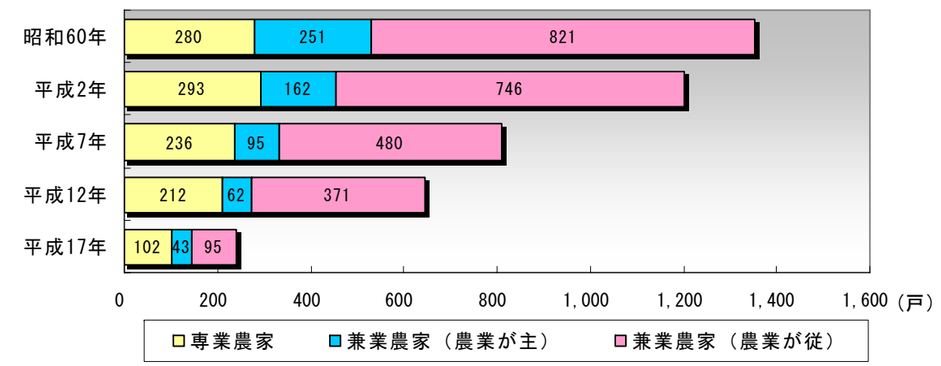
- 産業別市内純生産は、第1次、2次、3次とも年々微減となっている。
- 第三次産業への偏重が顕在化する一方、第一次、二次産業の就業者数が低下してきている。しかし一般的に都市部と比較してもまだ第一次、二次産業の就業者割合は比較的高い。

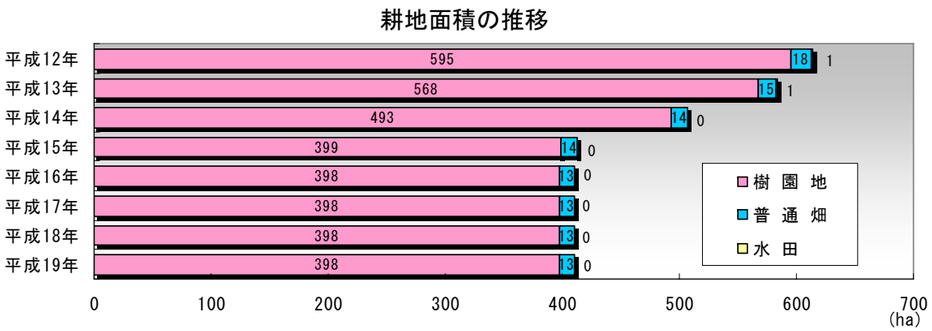




【農業】







①農家数
減少傾向。（昭和60年比　約1／6）
②農家の規模
昭和60年では、3ha以上の農家が全体の約2/3（850戸）を占めていたが、平成17年では1/2（117戸）と大きく減少。
③耕地面積
・耕地面積は年々減少傾向。614ha（平成12年）→411ha（平成19年）
・古くからみかんを主体とした柑橘類の生産が中心。他都市と違い水田がない。
④柑橘類生産量
・生産量も年々減少傾向。平成13年と平成16年を比較するとほぼ半減。
・生産額は平成14年に急激に伸びた後、翌年の平成15年には急落している。
・柑橘類は、年によって品目と生産量が異なっており、平成12年は普通温州の生産量が最も多かったが、平成13年では甘夏に代わり、平成15年ではサンクィーンへと変化。なお、平成12年では最も生産量の多かった普通温州は、平成16年では最も生産量が少なくなっている。

柑橘類生産量、生産額、キロ当り生産者価格

単位:t、円

年次	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
ハウスみかん	85	71	90	80	72	69	70	57
早生温州	342	304	270	173	139	156	110	81
普通温州	573	216	182	76	38	50	68	178
甘夏	492	492	501	289	208	208	122	132
サンクィーン	485	485	496	312	356	356	257	313
その他	867	1,586	1,274	1,042	782	647	313	386
計	2,844	3,154	2,813	1,972	1,595	1,486	940	1,147
生産額	330,460,000	293,080,000	518,110,000	227,550,000	221,830,000	219,774,061	288,359,634	246,034,256
キロ当り生産者価格	116	93	184	115	139	144	303	244

資料:津久見統計書

3.産業（農工商レジャー）

【林業・漁業】

①林業

平成13年から現在まで林野面積4,953haを保っており、その全てを民有林が占めている。

年　次	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年
総数(ha)	4,933	4,953	4,953	4,953	4,953	4,953
国有林(ha)	0	0	0	0	0	0
民有林(ha)	4,933	4,953	4,953	4,953	4,953	4,953

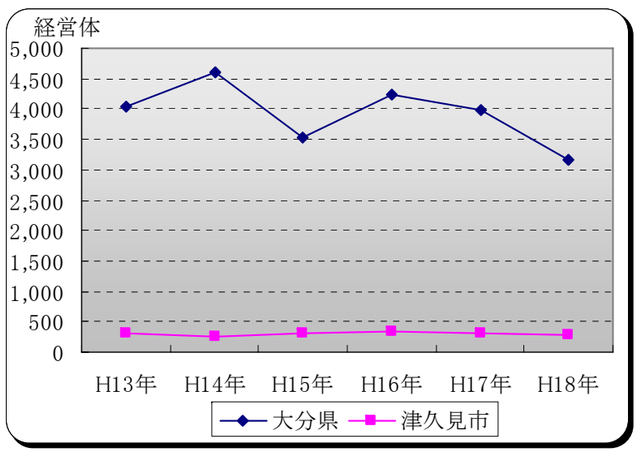
②漁業

津久見市の漁業は、遠洋マグロ漁を中心に発展し、保戸島におけるはえなわ漁船は、今でも日本トップクラスのマグロ漁獲高を誇っている。近年は、限りある水産資源を守り育てる資源管理型栽培漁業が積極的に進められており、漁港整備などが進められている。

本市内の漁業経営体数は、大分県の経営体数の概ね１割未満での推移を続けており、年によって増減はあるものの徐々に減少している。

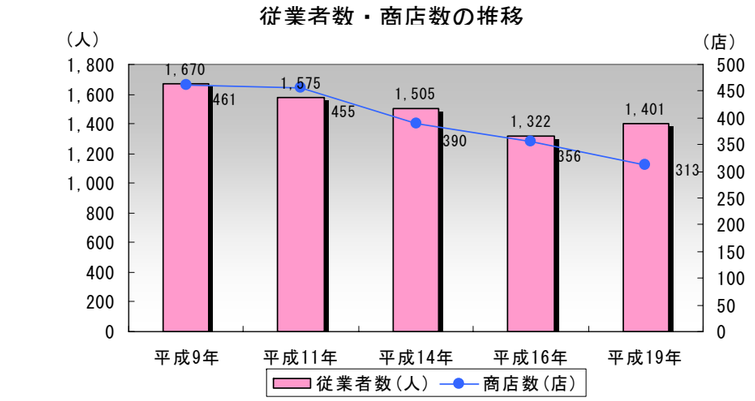
単位:経営体　　各年翌1月1日

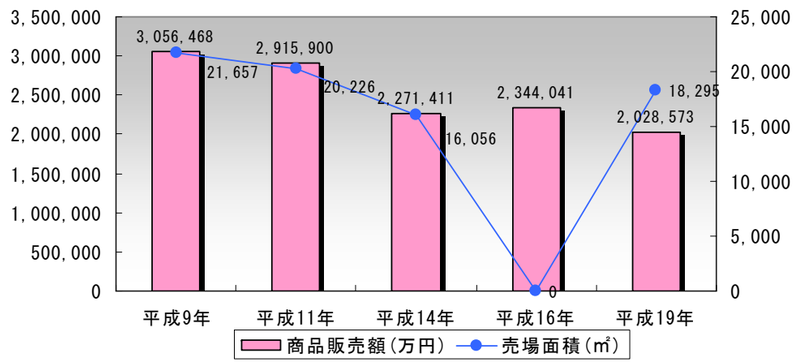
年　次	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
大分県	4,043	4,603	3,536	4,235	3,979	3,152
津久見市	301	252	297	337	319	285



【商業】

津久見市の商業動向は、事業所数、従業員数、年間販売額の全てが減少傾向となっている。特に、事業所数は一貫して減っており、平成19年では昭和60年のほぼ半数にまで減っている。
従業員数については、昭和63年にやや増えたものの、平成19年では63年の約6割まで減っている。
年間販売額は平成3年と平成6年で伸びたものの、平成9年で若干下がり、平成14年には急激に下がっている。その後、平成16年でやや持ち直しているが、表中で最も販売額の高い平成6年の約8割弱まで落ち込んでいる。





項　目	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
商店数(店)	461	455	390	356	313
従業者数(人)	1,670	1,575	1,505	1,322	1,401
売場面積(㎡)	21,657	20,226	16,056	―	18,295
商品販売額(万円)	3,056,468	2,915,900	2,271,411	2,344,041	2,028,573

3.産業（農工商レジャー）

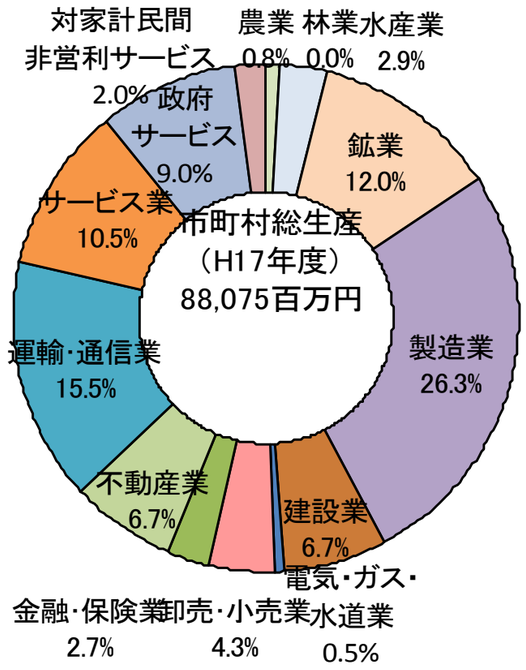
【工業・産業】

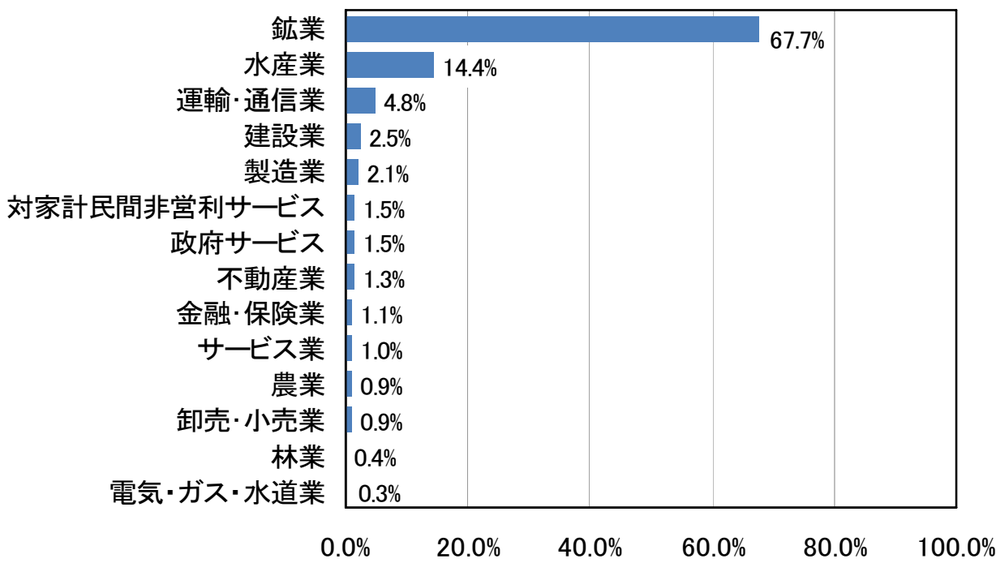
津久見市の工業は、リアス式海岸を利用した天然の良港と豊富な石灰岩の産出を生かして、大分県の発展に寄与する役割を果たしてきた。

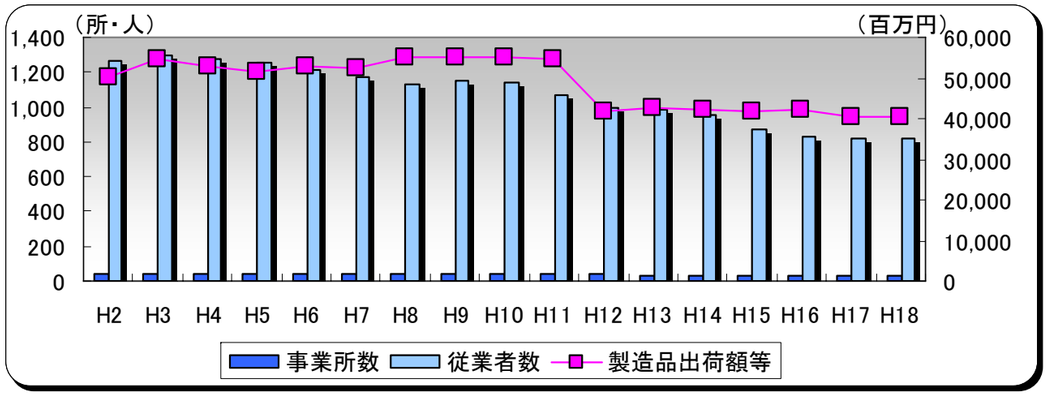
本市の工業の推移をみると、出荷額については、平成2年から平成10年までの間に増減を繰り返しながらもある程度の数字を保っていたが、平成11年から12年にかけて急激に減少し、その後も減少傾向が続いている。
事業所数をみると、平成3年に46ヶ所あった事業所が平成18年には32ヶ所まで減っている。同じく従業者数も平成3年をピークに徐々に減少しており、平成18年には平成3年の約6割まで落ち込んでいる。

また、平成18年における製造品出荷額構成比をみると、本市で最も出荷額の多い製造品は、窯業土石（セメント）で全出荷額の8割以上を占めており、次いで一般機械、食料品の順で続いている。

産業別の県内シェアをみると、津久見市がその中で占める内、最も大きいのは「鉱業（67.7%）、次いで水産業（14.4%）とこの二つが特筆すべき産業であるといえる。







項目	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
事業所数 （所）	45	46	45	45	38	40	38	40
従業者数 （人）	1,263	1,293	1,279	1,256	1,209	1,167	1,126	1,146
製造品出荷額等（百万円）	50,105	54,824	52,675	51,631	52,863	52,453	55,069	55,205

項目	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
事業所数 （所）	43	40	40	36	35	35	33	32	32
従業者数 （人）	1,143	1,066	992	984	958	871	828	819	818
製造品出荷額等（百万円）	54,992	54,479	41,967	42,755	42,394	41,774	42,245	40,384	40,526

3.産業（農工商レジャー）

【交流・（レジャー）、観光】

①　観光

津久見市の観光客数の推移を見ると、津久見インターチェンジの完成した平成14年に急激に増加し、前年の約1.7倍に増えている。その後は平成16年まで徐々に減少したが、平成17年には再び増加に転じている。

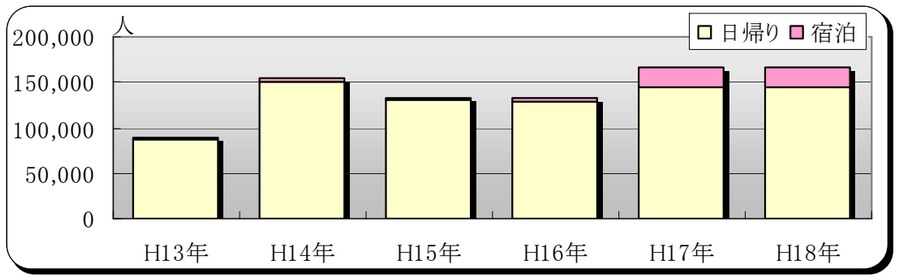
観光客の内訳をみると、ほとんどが日帰り観光であり、平成14年を期に急激に増加している。一方、宿泊数は、平成17年以前は3,000人前後で推移していたが、平成17年以降は1万人を越えている。

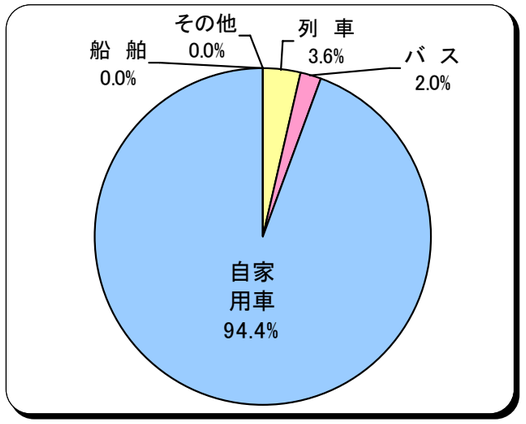
なお、津久見市に訪れる観光客数は、大分県下で姫島に次いで２番目の低さであり、大分県全体の0.3%程度となっている。

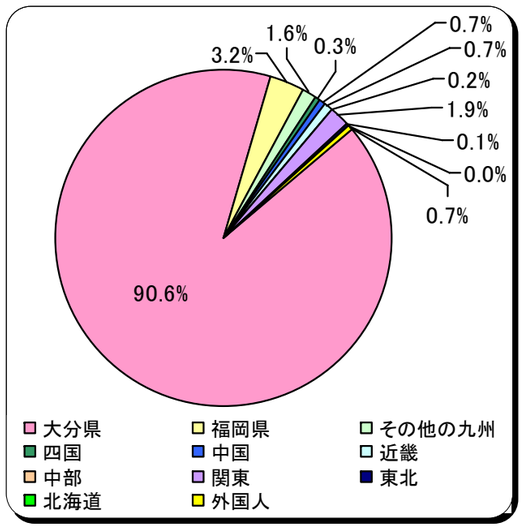
観光客が利用する交通機関をみると、自家用車での移動が最も多く9割以上を占めており、発地別でみると大分県内からの観光客が多くを占めている。

単位:人

年　次	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
日帰り	86,548	150,110	130,308	129,634	143,834	143,750
宿泊	2,798	3,571	2,992	2,940	22,617	21,800
総数	89,346	153,681	133,300	132,574	166,451	165,550







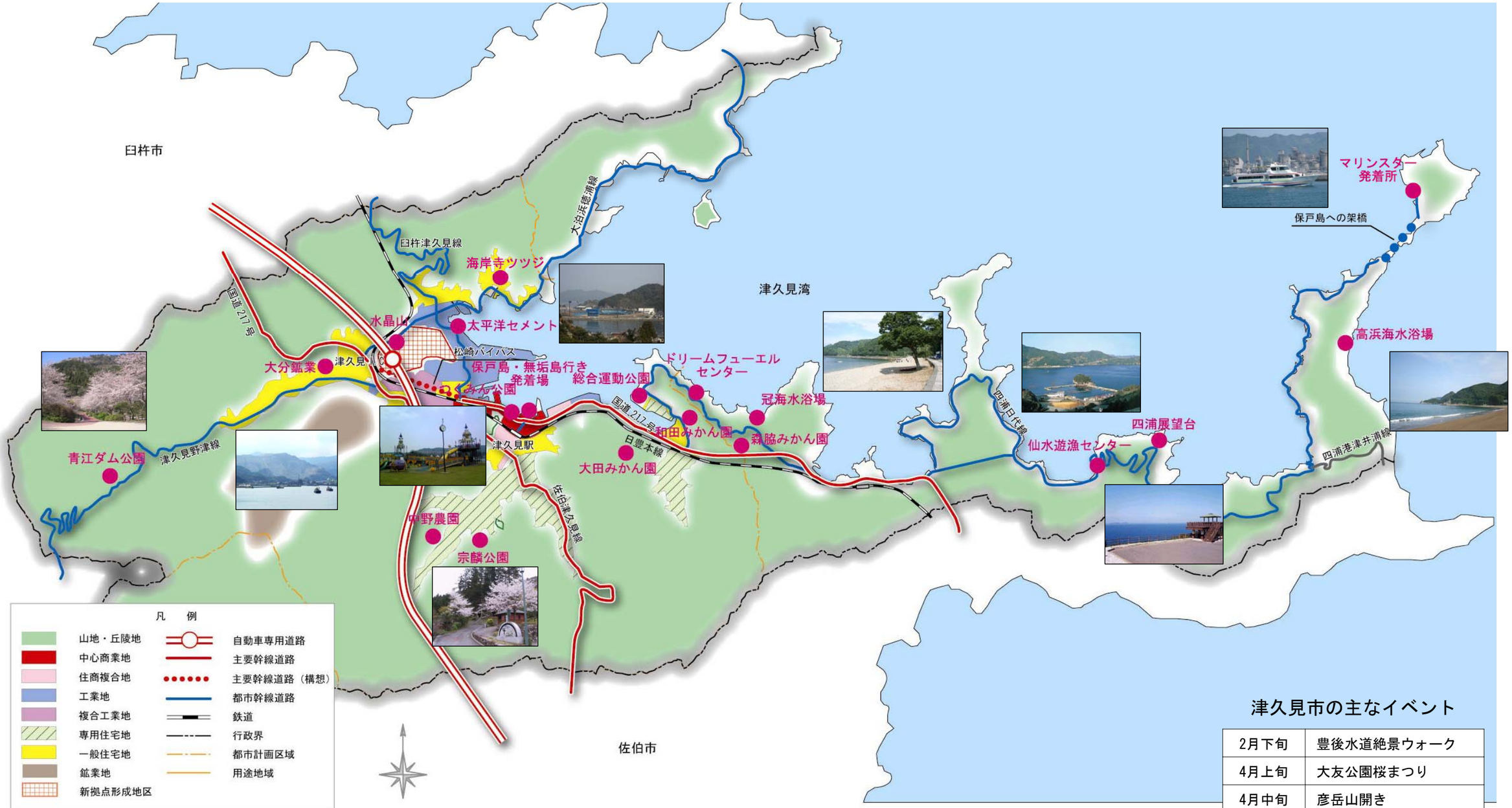
	日帰り・宿泊別観光客数（H18年）					
	日帰り客		宿泊客		総数	
	客数	構成比	客数	構成比	客数	構成比
大分市	3,215,690	6.9	663,765	8.5	3,879,455	7.1
別府市	7,828,823	16.7	3,936,966	50.3	11,765,789	21.5
中津市	3,390,567	7.2	170,288	2.2	3,560,855	6.5
日田市	6,111,748	13.0	490,710	6.3	6,602,458	12.1
佐伯市	3,349,183	7.1	112,452	1.4	3,461,635	6.3
臼杵市	537,603	1.1	45,487	0.6	583,090	1.1
津久見市	143,750	0.3	21,800	0.3	165,550	0.3
竹田市	3,837,480	8.2	423,449	5.4	4,260,929	7.8
豊後高田市	1,028,862	2.2	42,389	0.5	1,071,251	2.0
杵築市	700,219	1.5	111,555	1.4	811,774	1.5
宇佐市	3,671,308	7.8	117,243	1.5	3,788,551	6.9
豊後大野市	2,823,718	6.0	31,772	0.4	2,855,490	5.2
由布市	3,669,757	7.8	934,895	12.0	4,604,652	8.4
国東市	734,632	1.6	57,147	0.7	791,779	1.4
姫島村	28,815	0.1	12,348	0.2	41,163	0.1
日出町	754,565	1.6	204,317	2.6	958,882	1.8
九重町	4,441,800	9.5	417,500	5.3	4,859,300	8.9
玖珠町	662,700	1.4	27,700	0.4	690,400	1.3

（単位　人）

	利用交通機関別観光客数（平成18年）						
	総　数	構成比(%)	列　車	バ　ス	自家用車	船　舶	その他
大分県	**54,753,003**	**100.0**	**3,674,725**	**8,611,744**	**41,014,481**	**654,555**	**797,498**
大分市	3,879,455	7.1	1,388,577	230,969	2,044,044	211,150	4,715
別府市	11,765,789	21.5	875,364	695,616	9,553,552	220,481	420,776
中津市	3,560,855	6.5	94,312	998,809	2,450,134	0	17,600
日田市	6,602,458	12.1	230,257	2,219,911	4,070,007	0	82,283
佐伯市	3,461,635	6.3	130,094	361,178	2,896,798	52,295	21,270
臼杵市	583,090	1.1	53,296	63,300	412,713	50,282	3,499
津久見市	165,550	0.3	5,890	3,300	156,310	50	0
竹田市	4,260,929	7.8	53,532	352,578	3,765,524	0	89,295
豊後高田市	1,071,251	2.0	0	449,925	578,476	0	42,850
杵築市	811,774	1.5	51,865	112,351	614,728	11,287	21,543
宇佐市	3,788,551	6.9	215,806	1,124,848	2,447,897	0	0
豊後大野市	2,855,490	5.2	103,690	316,110	2,435,690	0	0
由布市	4,604,652	8.4	256,204	182,905	4,146,015	0	19,528
国東市	791,779	1.4	30	175,400	536,596	61,142	18,611
姫島村	41,163	0.1	0	0	0	41,163	0
日出町	958,882	1.8	104,508	67,244	724,897	6,705	55,528
九重町	4,859,300	8.9	52,400	1,162,400	3,644,500	0	0
玖珠町	690,400	1.3	58,900	94,900	536,600	0	0

3.産業（農工商レジャー）

【交流・（レジャー）、観光】



津久見市の主なイベント

2月下旬	豊後水道絶景ウォーク
4月上旬	大友公園桜まつり
4月中旬	彦岳山開き
7月上旬	保戸島夏祭り
7月中旬	赤八幡夏祭り
7月中旬	港まつり
8月下旬	扇子踊り大会
10月下旬	ふるさと振興祭
10月下旬	赤八幡秋祭り
11月中旬	堅浦霜月まつり

①　観光（観光施設図）

本市の観光施設は、そのほとんどが津久見湾沿いに立地している。

イベントは、2月から11月まであるが、主に春先（4月）、夏（7月から8月）、秋（10月から11月）に集中している。

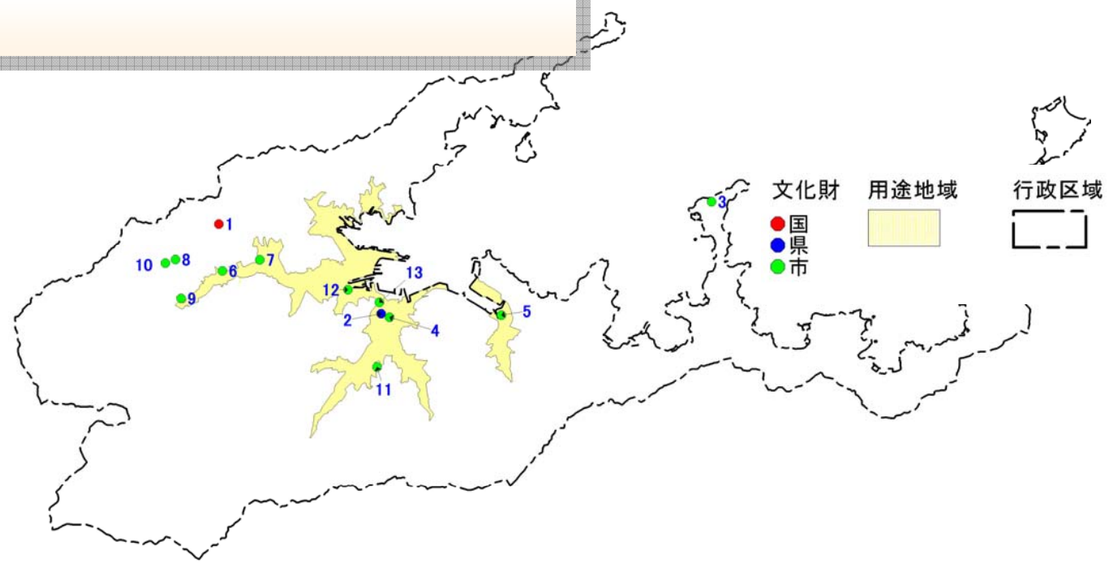
3.産業（農工商レジャー）

【交流・（レジャー）、観光】

②　文化財等

津久見市には、国天然記念物に指定されている尾崎コミカン先祖木、県天然記念物に指定されている姥目のウバメガシをはじめ、市指定の天然記念物、文化財、史跡が各地に分布している。

対照番号	種類	指定主体	指定年月日	名称	位置
1	天然記念物	国	S12年	尾崎コミカン先祖木	津久見市大字上青江3013
2	天然記念物	県	S35.3.22	姥目のウバメガシ	津久見市中央町
3	天然記念物	市	S51.10.8	アコウ	津久見市大字網代字奥5665番地
4	天然記念物	市	S51.10.8	姥目公園ウバメガシ	津久見市中央町7番
5	天然記念物	市	S51.10.8	千怒新地ウバメガシ	津久見市大字千怒字新地6239番地
6	有形文化財	市	H3.3.31	鬼丸板碑	津久見市大字上青江5245番地の1
7	有形文化財	市	H3.3.31	道尾石憧	津久見市大字上青江3144番地の1
8	有形文化財	市	H3.3.31	川内石憧	津久見市大字上青江643番地
9	有形文化財	市	H3.3.31	世尊寺五重塔	津久見市大字下青江1198番地
10	有形文化財	市	H3.3.31	村上神社宝篋印塔（ホウキョウインドウ	津久見市大字上青江643番地
11	史跡	市	H5.1.11	大友宗麟公墓	津久見市大字津久見4190番地
12	有形文化財	市	H5.1.11	臼杵藩領津久見絵図	津久見市セメント町
13	有形文化財	市	H5.1.11	軸丸文書	津久見市中央町



③　景観資源

本市の景観の特徴は、大きく次のように類型化できる。

「海岸・海浜景観ゾーン」
湾内に点在する島々、半島部のリアス式海岸が織り成す独特の景観（日豊海岸国定公園）

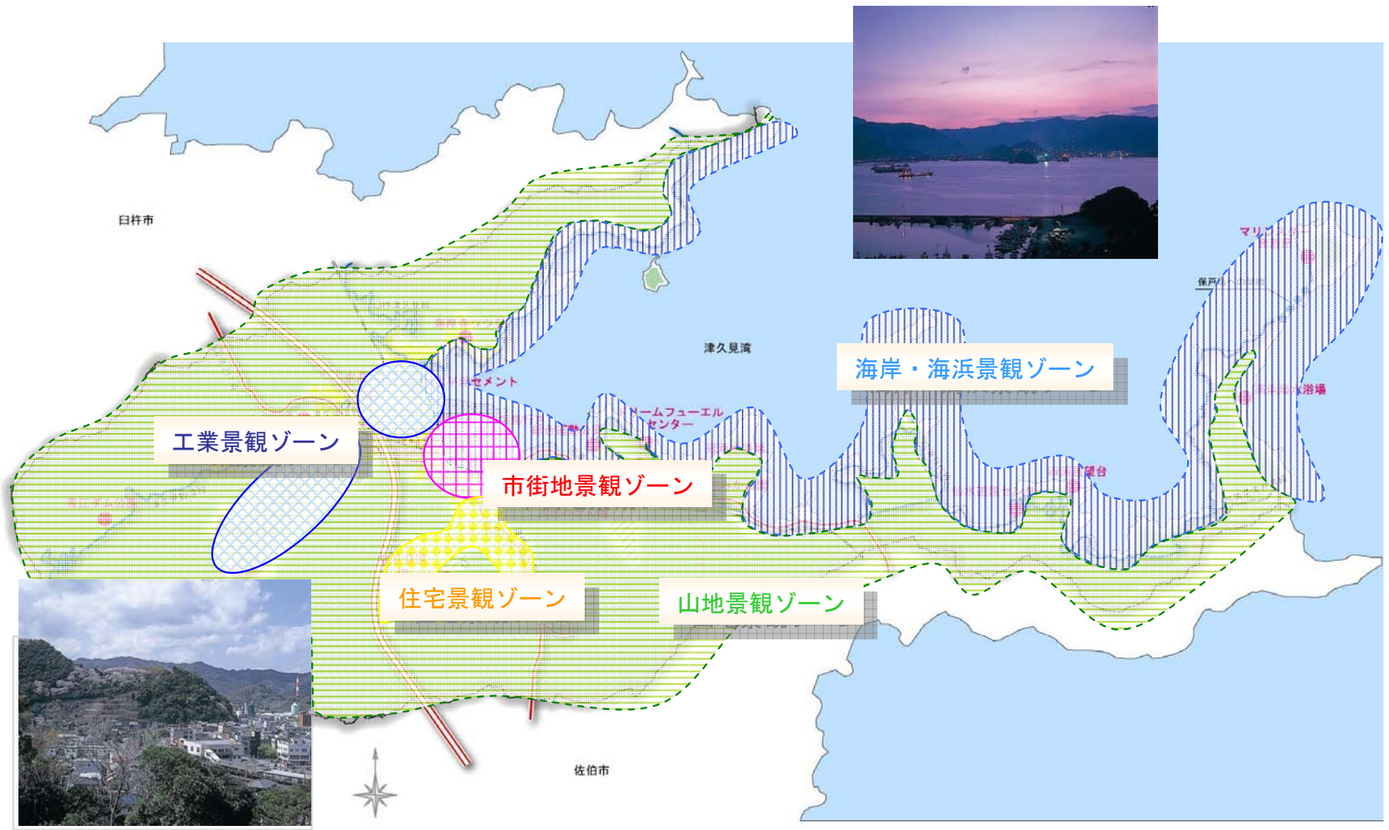
「山地景観ゾーン」
海面に迫る山並みや市街地を取り囲むように広がるみかん栽培の段々畑などの急峻地（豊後水道県立自然公園）

「市街地景観ゾーン」
津久見駅から津久見港周辺の本市中心市街地

「住宅景観ゾーン」
新市街地（土地区画整理により住宅地開発された地区）

「工業景観ゾーン」
津久見湾の工場群や石灰石採石跡地（水晶山）

※その他、「漁村景観」「歴史的町並み景観」「公園緑地景観」などが点在している。



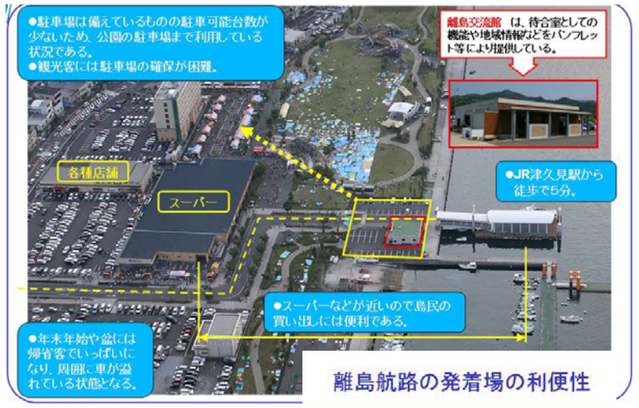
3.産業（農工商レジャー）

みなとオアシス津久見

みなとオアシスとは？
国土交通省では、みなとにおいて人々が憩い、集い、潤える空間を「みなとオアシス」として認定し、住民参加による地域活性化の取り組みに対し、様々な支援を行っています。
津久見市は、つくみん公園の周辺を「九州みなとオアシス」に登録するために、平成２０年３月３日に申請を行い、同年６月２５日、大学の教授やＮＰＯ法人の理事長等からなる審査委員会の満場一致により九州地方整備局への推薦が決定され、７月３日に「九州みなとオアシス」に認定されました。
「みなとオアシス津久見」は九州で６番目、大分県では「大分港」「別府港」についで３番目の登録であり、津久見市では今後もこの拠点を中心に様々な行事やサービスの提供を行っていきます。

みなとオアシス津久見が有する多面的機能と今後の活用課題
「みなとオアシスの市民の認知度が低い」「冬場は閑散となり一年を通じた集客力がない」「地域物産展が「つくみん公園」から遠い」「埋立地に未利用地が多い」など

みなとオアシス津久見	
「みなとオアシス」のコンセプト	C：communication（情報や交通の発信基地であり） O：originality （独自性があり） R：recreation （娯楽要素たっぷりで） E：enjoy （みんなが楽しめる） CORE 津久見の中心となる空間の創出
「みなとオアシス」の所在地	大分県津久見市中央町７６０－１１９他 関連港湾・港湾海岸の名称 （津久見港） 施設管理者または港湾管理者（大分県津久見市）
「みなとオアシス」の主たる活動団体及び代表者名	津久見市 津久見市長 吉 本 幸 司
基本提供サービス	
①交流スペース ４９，１９９ ㎡ ②駐車場 １７５ 台 ③公衆トイレ （男・女・身障者用 ）	
その他の提供サービス	
旅客ターミナル(情報コーナー) ・ バス停 ・ 身障者用施設 ・ レストラン ・ 売店 ・ 公園 その他（ステージ ・ お祭り広場 ・ 大型遊具 ・ 草スキー ）	
施設構成及び提供するサービスの概要	
・施設横の緑地公園（つくみん公園）にて、年間を通じて様々なイベントを開催。 ・離島交流館では、離島航路の待合室としての機能や地域情報などをパンフレット等により提供する。 ・うみえーるつくみでは、郷土料理や地域の特産品などのおみやげの販売を行っている。	
管理・運営体制	・基本的に施設及び公園管理者は津久見市。 ・アダプトプログラムにより登録団体が区域を設定の上清掃・除草活動を行う。



離島航路の発着場の利便性

緑地広場・駐車場・地域物産店の配置とオアシス周辺

離島航路（保戸島・無垢島へ）